

2025.06.30更新

未広通り公共空間利活用にあわせて

イーストエリアの回遊性向上に繋げるまちづくり施策



目標

末広通り沿道の一部は、公営駐輪場及び私営駐車場に挟まれたエリアが存在し、商店街であるにもかかわらず、店舗等が一切ないエリアが存在する。南北の移動及び井の頭通りの東側への裏道として**車両**の交通量が多い通りである。このことにより、人の流れが遮られ、賑わいの連続性が損なわれている。当該実験では、商店街全域に人を回遊させ、いずれはイーストエリアの南北の回遊性向上につなげることでより良い街とすることを目標とする。

行政課題等の課題の整理

1 吉祥寺グランドデザイン2020(p.32)

イーストエリアに位置付けられる当該地は、長年の環境浄化の継続的な取り組みにより環境改善がされてきている。今後は、人の流れを誘引することが求められている。

2 NEXT吉祥寺2021(p.19/31)

ウォークアブルなまちづくりの推進に資するにぎわい創出が求められているエリアであり、行政は、駅周辺の商業・業務地に隣接する住商複合地は、住宅地と商業・業務機能が調和した地区として誘導するため、地域住民によるルールづくりや取組みを促進する。

3 第三期産業振興計画(p.30)

まちの公共的な空間を活用した魅力づくりとして、社会実験を通じて道路や公開空地などのオープンスペースの利活用の可能性を探るとともに、商店会等が地域独自のイベント等を自発的・自立的に参画、展開できるよう支援していきます。

末広通りからはじまるイーストエリアの将来像

NEXT吉祥寺に示された南北の回遊性向上に繋げる施策として、イーストエリアの23街区や18街区といった開発の進むエリアから南側に賑わいを呼び込み回遊させるため、「弁天通り」や「水門通り」を介して、中央線北側の「ベルロード」と南側の「末広通り」を連絡し、エリア内の南北回遊動線を創出するための手法として、末広通りの道路空間利活用やそれに伴う交通規制を検討するだけでなく、将来的には、南北回遊動線の縦の要である弁天通りを含めたイーストエリアの回遊動線創出を目標とする。その安全性を高めるためにも末広通り全体を時間帯や曜日等を検討したうえで通行止めにすることを目標にする。

ただし、通行止めへの交通規制変更は、沿道全員の同意が必要になりそのハードルは非常に高い。このことから、その第一歩として、賑わいの連続性の確保から歩いて楽しい通りを目指し、将来的な沿道市民の理解と同意に繋がるよう段階的に実施場所や範囲を変えつつ課題に対応し進めていく。

NEXT吉祥寺(抜粋)

(2) ウォーカブルなまちづくりの推進

歩行者優先(ウォーカブル)のまちづくりを推進するため、未整備道路の整備や景観整備路線事業等を進めるとともに、公共自転車駐車場配置の適正化や吉祥寺地域交通ルール等の検討を行い、歩行者が安全・安心で歩きやすい・歩きたくなる道路空間を目指します。

また、快適な居場所づくりの推進に向け、滞留空間*の確保やステーキホルダー間の連携によるオープンスペースの利活用について検討します。



(2-1) イーストエリアのにぎわい創出

イーストエリア

イーストエリアは、JR中央線を境に北側に広がるエリアと末広通り(①)沿いを中心に南東側にエリアが広がっていますが、ともに駅至近エリアのポテンシャルを活かしきれていないといった課題があります。新たな芽が育ちつつあるエリアであるため、人の流れを誘引する目的の創出が求められています。

エリア内に点在する市有地を暫定的に利用している自転車駐車場については周辺エリア外周部への移転や集約等による配置の適正化を図り、歩行者が安全に安心して歩ける道路空間を目指します。あわせて、バリアフリー化等に課題のある本町コミュニティセンター(②)の移転を含め、市民や関係団体とともに検討を進め、早期利活用を目指します。このことにより駅至近に所有している市有地について、ステーキホルダー間の連携も視野に、エリアのにぎわいに寄与する取組みを推進します。

事業中の区画道路*(本町稲荷通り(③)・市道第299号線(④))については継続して整備を進めるとともに、「弁天通り(⑤)」「水門通り(⑥)」を介して、中央線北側の「ペルロード(⑦)」と南側の「末広通り」を連絡し、エリア内の南北回遊動線を創出するための手法について検討します。

個別施策名

- ・公共自転車駐車場の適正配置
- ・点在する市有地の利活用に向けた検討
- ・本町稲荷通り(景観整備優先路線)、市道第299号線の整備の推進
- ・新たな南北回遊動線の創出に向けた取組み

取組みの進め方

■公共自転車駐車場の適正配置

吉祥寺東部地区市有地利活用公共自転車駐車場等対応方針に基づく取組み

■点在する市有地の利活用に向けた検討

本町コミュニティセンターの移転を含めた検討
(運営協議会との協議、コミセン類型別施設整備計画策定)

■本町稲荷通り(景観整備優先路線)、市道第299号線の整備の推進

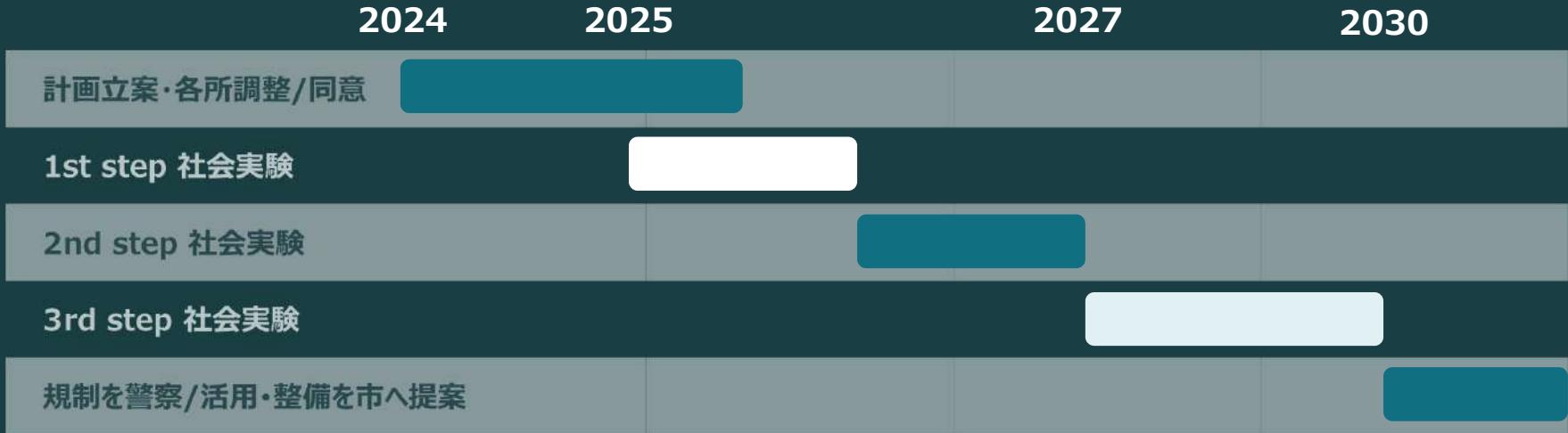
■新たな南北回遊動線の創出に向けた取組み
オープンスペース等の利活用

10年で目指す到達点

本町コミュニティセンターのあり方検討とイーストエリアのにぎわい創出



将来像実現に向けた動き



step別 実験の範囲



step2 弁天通りの活用検討



実験イメージ



1st step社会実験概要



目的

店舗等が一切ないエリアのにぎわいを創出し、今まで遮られていた人の流れを変えることで、賑わいの連続性を生み出すとともに、その影響等を検証する。



実施内容

末広通り沿道の公営駐輪場及び私営駐車場に挟まれたエリアで賑わいの連続性が損なわれている。このことから、当該エリアを車両通行止めにし、通行車両を迂回させたくえで、当該エリアにイス・テーブル/パラソル等を配置することで賑わいの連続性を創出し、**通りに来街者を呼び込み、エリアの活性化につなげる。**



実施場所・日時

吉祥寺南町2丁目5番地先（末広通り）

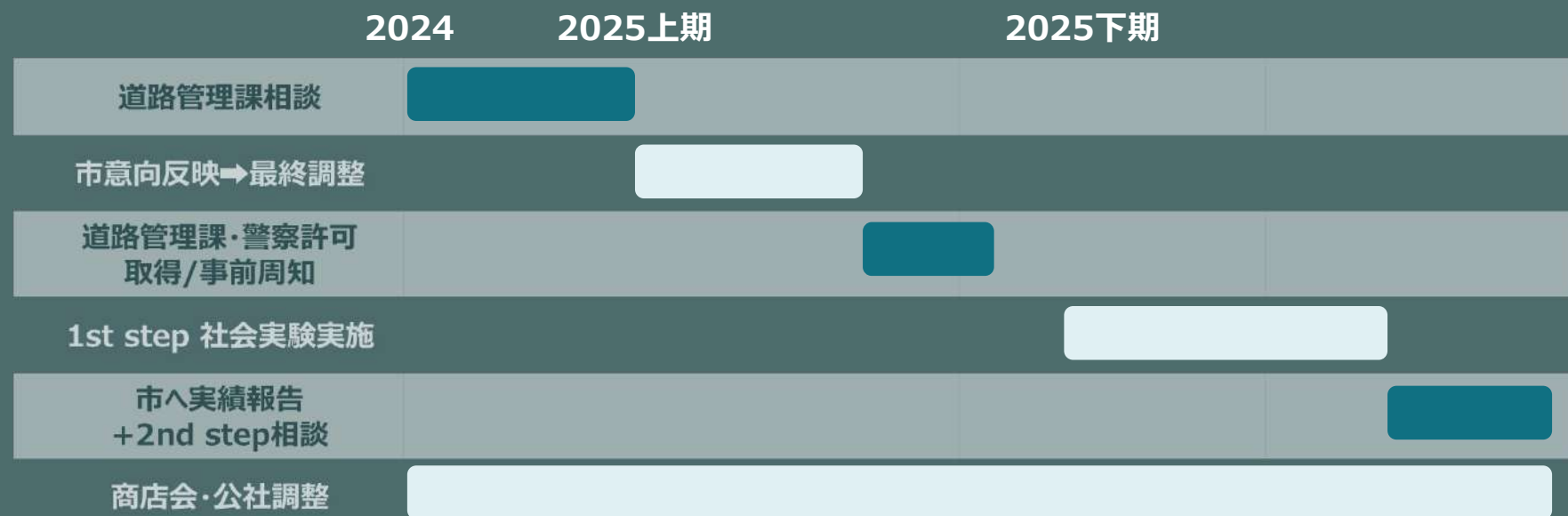
令和7年9月13日(土)～14日(日)（ 時～ 時の間）



検証事項

- ✓ 車両通行止め及びイス・テーブルの配置により、平時と比べ、人の流れが増えるのかどうか
- ✓ 車両通行止めに対応する迂回路が正常に機能するか。また、迂回による地元への弊害の有無
- ✓ 実施にあたる工数等を確認し、将来的な商店会単独での実施可能性の有無

1st stepスケジュール



運営主体



吉南商店会
(地元商店会)



武蔵野市開発公社
(都市再生推進法人)

公共空間利活用 先行実績(開発公社)



元町通りテーブル

「週末の午後限定で元町通りにテーブルセットを設置し、誰もが無料で利用できる空間」として開放する取り組みです。

2020年10月に武蔵野市開発公社が吉祥寺元町通り商店街振興組合と共催で実施した実験的なプロジェクトで、新たな公共空間の在り方の模索を目指しました。



平和通りテーブル

「期間限定で吉祥寺駅北口のバスロータリーに接する平和通りにテーブルセットを設置し、誰もが無料で利用できる空間」として開放する取り組みです。

2024年5月に吉祥寺平和通り商店会協同組合が実施した実験的なプロジェクトに武蔵野市開発公社も協力し、新たな公共空間の在り方の模索を目指しました。



吉祥寺駅南口暫定広場活用実験

「様々な交流が生まれ、歩いて楽しい居心地が良いまち」を目指して、駅前のパブリックスペースを活用する実験的な取り組みを初めて行いました。

吉祥寺駅南口暫定広場に、複数用途（商品展示台とベンチ）での使用が可能なストリートファニチャー「まちからベンチ」を設置し、有料の貸し出しスペースとして実験的に活用するこの取り組みです。